

## 平成 30 年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成 30 年 9 月 20 日

学 長 殿

所属部局・職名 共生システム理工学類・教授

申 請 者 名 董 彦 文

助成事業の区分 (該当するものに○印)	研究協力に関する事業 (学会参加)
事 業 名	国際学会 The Fourteenth International Conference on Industrial Management (ICIM2018)の参加
事業実施期間	平成 30 年 9 月 7 日～平成 30 年 9 月 15 日
成 果 の 概 要	<p>The Fourteenth International Conference on Industrial Management (ICIM2018)は 2018 年 9 月 12 日～9 月 14 日中国・杭州市にて開催された。この大会に参加し, "An Investigation on Relationship between Competitive Spirit of Workers and Productivity in Cell Production System"を題目とする研究発表を行った。</p> <p>セル生産の効率は作業者の適性に強く依存し, また作業者のモチベーションを高く維持することも重要である。本研究では, 社会的比較理論を応用し, 作業者同士の競争を促すことにより作業者のモチベーションを高めることを目的として, セル生産実験を設計のうえ, 作業者同士の競争と作業効率の改善効果を調べた。10-15 分おきに各作業者の作業時間をチェックし, 一番効率の高い作業者の作業時間, 一番効率の低い作業者の作業時間, および実験班における各作業者のランキングをアナウンスすることにより, 作業効率が 20%ほど改善できることが明らかになった。しかしながら, ご少数の作業者(37 名中の 2 名)は作業者間の競争に対して強いストレスを感じたり, または全く無関心を貫いたりして, 作業効率の改善効果が見られなかった。</p> <p>学会の間には, 中国の IT 企業であるアリババとヤマハの杭州工場へ工場見学に行ってきた。アリババは「顧客第一, 従業員第二, 株主は第三」という経営方針を謳っており, うらやましく思っている。</p>